

# 名古屋駅地区 サイン設置ガイドブック

2015

(名古屋駅地区街づくり協議会)



## I. ガイドブックの目的

- 名古屋駅地区は、複数の鉄道駅と地下街や民間施設内を貫く地上・地下の通路により充実した歩行者ネットワークが形成されています。一方、複数の管理主体があるために、案内・誘導サインが分かり難くなっています。
- そこで、案内・誘導サインの現地調査を行い、当地区のサインの問題点や課題の把握・整理を行うとともに、会員がサインを設置する際に最低限配慮頂きたい事項としてまとめました。
- 公共空間における歩行者系案内サインに関する名古屋市のルールとともに、本ガイドブックを参考とし、歩きやすい街づくりの実現の一助となることを目的としています。



## II. ガイドブックの位置づけ

### 『名古屋駅地区街づくりガイドライン 2014』

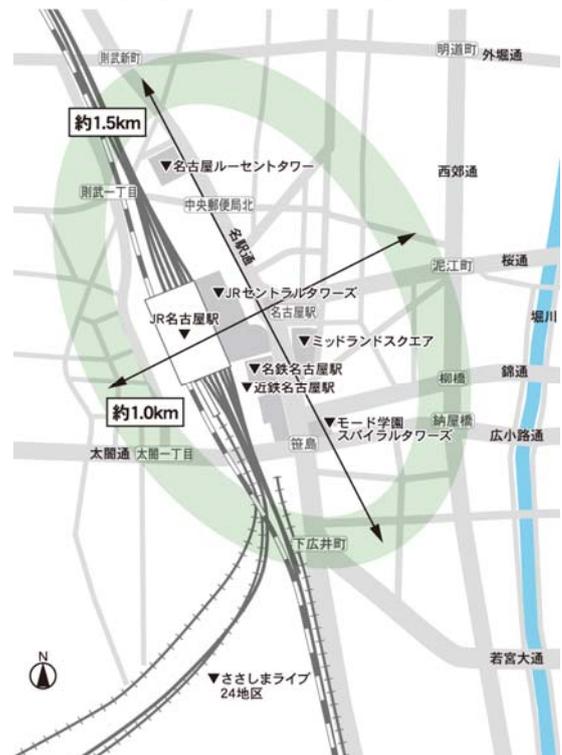


- 戦略 I 空間形成戦略
- 施策 2 : 歩行者の回遊性を高める歩行者ネットワークを形成する
- 取組み : (中略) 施設のサインデザインのルール作りについて検討する。



名古屋駅地区サイン設置ガイドブック  
2015

### 〔名古屋駅地区とガイドライン 2014 の範囲〕





### Ⅲ. 名古屋市が運用する既存のサインに関するガイドライン、マニュアルについて

- ◆名古屋市では、公共空間における歩行者のためのサインに関するルールとして、以下の2つが作成・運用されています。
- ◆会員が敷地内に設置するサインにおいても、名古屋市のルールを参考として検討していきましょう。

『名古屋市歩行者系サインマニュアル（H25.12改定）』※以下、サインマニュアル  
 : 名古屋市の公道路面及び公道に面して、歩行者のために市が設置する標識を対象。  
 『名古屋市地下空間サイン整備ガイドライン（H17.10策定）』※以下、サインガイドライン  
 : 名古屋市地下街基本方針で定義される地下街の公共地下歩道等に適用。

〔名古屋市歩行者系サインマニュアル〕



〔名古屋市地下空間サイン整備ガイドライン〕



※どちらも、名古屋市公式ホームページから、全編をダウンロードすることができます。



### Ⅳ. サイン設置の心得 7ヶ条

#### サインの管理について

#### 1. 現在のサインの不具合を積極的に改善し、きれいで見やすいサインにしましょう。

- ◆サインは、初めて街を訪れた人々が必ず目にするものであり、街を印象付ける重要な要素の一つです。
- ◆きれいで見やすいサインの維持に向け、日常的な清掃やチェックを行い、積極的に改善を図りましょう。

〔不具合の例〕

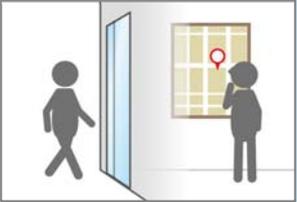
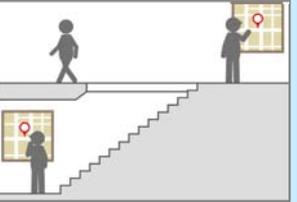
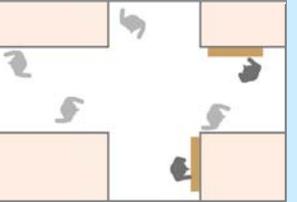
- ・サインの情報が古い
- ・記載の名称がバラバラ

など

#### サインの設置について

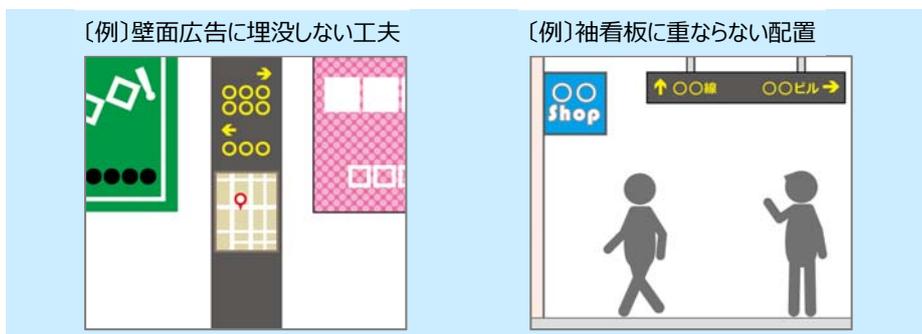
#### 2. 適切な位置に、適切な案内マップを設置し、目的施設へのアクセス性を高めましょう。

- ◆交通施設や建物の主要な出入口、地上・地下を繋ぐ階段の上り口や下り口、歩行者ネットワークの分かれ道や交差点に、地区の情報を提供する案内マップの設置を検討しましょう。

<p>〔例〕 交通施設の主要な出入口</p> 	<p>〔例〕 建物の主要な出入口</p> 	<p>〔例〕 地上・地下を繋ぐ階段</p> 	<p>〔例〕歩行者ネットワークの 分かれ道や交差点</p> 
--	--	--	---

### 3. 通行者が見つけやすい位置へ誘導サインを設置しましょう。

- ◆ 設置においては、誘導サインを見る通行者の進行方向に配慮しましょう。
- ◆ 誘導サインは可能な限り集約し、かつ、施設の種類毎にまとめて配置しましょう。



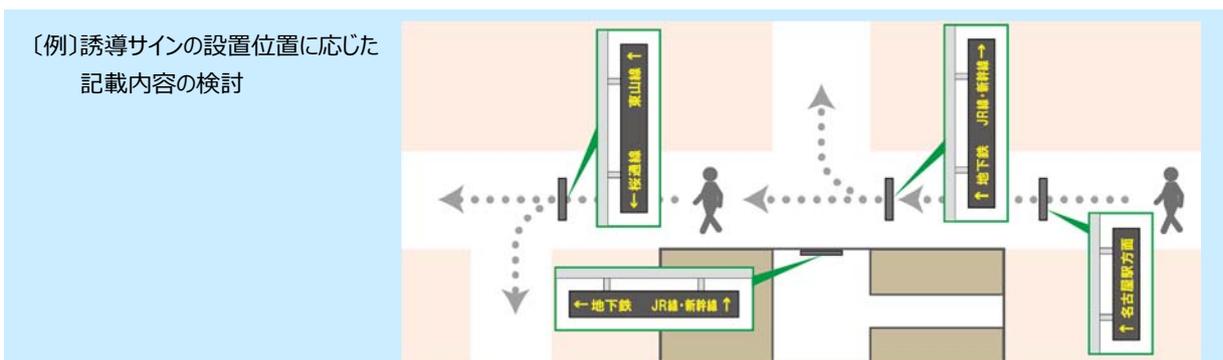
### サインの記載内容・デザインについて

#### 4. 案内マップ、誘導サインには、地区全体で統一された施設表記と分かり易いピクトグラムを使用しましょう。

- ◆ 歩行者の混乱を防止するため、地区全体で統一された表記を使用しましょう。(別紙参照)
- ◆ 施設名称には、原則としてアルファベット表記を併記するとともに、スペースに応じて多言語表記の検討も行いましょう。
- ◆ ピクトグラムは『サインマニュアル』、『サインガイドライン』や JIS 規格(交通エコロジー・モビリティ財団)を参考に、統一感のあるデザインを心がけましょう。
- ◆ トイレ、案内所、郵便局、エレベーターなど、ピクトグラム表示により一見してその表現内容の理解が容易な機能は、文字表示でなくピクトグラム表示を優先しましょう。

#### 5. 案内マップ、誘導サインには、公共的な施設や街の目印となる施設を記載しましょう。

- ◆ 案内マップの記載内容は、市の『サインマニュアル』と『サインガイドライン』を参考として、公共的な施設や街の目印となる施設を記載しましょう。
- ◆ 案内マップと誘導サインの両方を近接して設置する場合は、案内マップと誘導サインを見比べることを想定し、誘導サインに記載する施設は案内マップにも表記しましょう。
- ◆ 誘導サインには、誘導サインが設置される位置に応じて、鉄道等の交通施設や近隣施設を記載しましょう。記載にあたっては、前後の誘導サインの記載内容を確認し、歩行者に分かり易い記載としましょう。



## 6. 案内マップは方位を統一し、デザインは統一感のあるものを目指しましょう。

- ◆地図の方位は、見る人が向いている方向が上になるよう設置しましょう。
- ◆地図のデザインは、見る人がストレスとならないように、『サインマニュアル』、『サインガイドライン』を参考として、統一感のある表現・配色を検討しましょう。

## 7. 視認性に優れた明度比・輝度比による見やすい誘導サインを設置しましょう。

- ◆『サインマニュアル』、『サインガイドライン』を参考として、目の不自由な人の見え方に配慮し色彩やライティングを行いましょ。



## V. 今後の進め方

- ◆名古屋市の進めるまちづくりと連携しながら、ガイドブックの深度化を検討します。
- ◆名古屋市が管理する道路空間のサインと、民間が設置するサインとの連携・調整や、注意喚起サイン（禁煙区域、駐輪禁止区域等）の取扱いについて、名古屋市と連携して検討します。



## 参考：サイン調査について

- ・調査日：平成26年11月～平成27年1月
- ・調査方法：ルートを定めて歩き、ルート上のサインの問題点や課題を写真・コメントで整理

### ■ 調査結果のまとめ

#### ○サインの管理について

- ・案内板やサインの管理が不足している。（剥がれている、落書きや汚れが多い、情報が古い、植栽で見えない等）

#### ○サインの設置について

- ・案内板やサインが必要な場所に設置されていない。（駅やバスターミナルなど起終点、通路の交差部、階段上り口・下り口、屋外の案内板の不足等）
- ・案内板やサインは設置されているが、見つけにくい・分かりにくい。（壁面に設置されており目線にない、進行方向から見えにくい、コントラストが低い等）

#### ○サインの記載内容・デザインについて

- ・案内板やサインは設置されているが、施設名等の記載がない。（地下鉄東山線はあるが桜通線はない、直前に記載された施設名がなくなっている等）
- ・案内板やサインに施設名等が記載されているが、標記が統一されていない。（施設名称がバラバラ、出口番号が途中で変わる、地図の方位が不統一、ピクトグラムの有無や不揃い等）